

奈良県の労働市場の動き（令和元年7月分）

・有効求人倍率（季節調整値）は、1.48倍で、前月より0.05ポイント減少しました。

・全国は1.59倍で、奈良県は0.11ポイント下回りました。

・近畿ブロックは1.60倍で、奈良県は0.12ポイント下回りました。

・有効求人数（季節調整値）は、25,148人、前月より2.1%の減少となり2ヶ月ぶりの減少となりました。

・有効求職者数（季節調整値）は、16,947人、前月より0.9%増となり4ヶ月連続の増加となりました。

・新規求人倍率（季節調整値）は2.20倍でした。

前月より0.01ポイント下回りました。

・新規求人数（季節調整値）は、8,669人、前月より2.8%の減少となりました。

主要産業の新規求人状況を前年同月比で見ると、「建設業」、「製造業」、「医療福祉」、「サービス業(他に分類されないもの)」において増加し、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」で減少しました。

建設業(前年同月比15.3%増)、
製造業(同2.7%増)、
運輸業、郵便業(同8.0%減)、
卸売業、小売業(同8.0%減)、
宿泊業、飲食サービス業(同16.9%減)、
医療、福祉(同4.3%増)、
サービス業(他に分類されないもの)(同10.5%増)

・新規求人数（原数値）のうちパート求人は4,198人でした。
パート求人比率は47.4%でした。

・新規求職者（季節調整値）は、3,949人で前月より2.0%の減少となりました。

・雇用保険受給資格決定件数は1,061件でした。

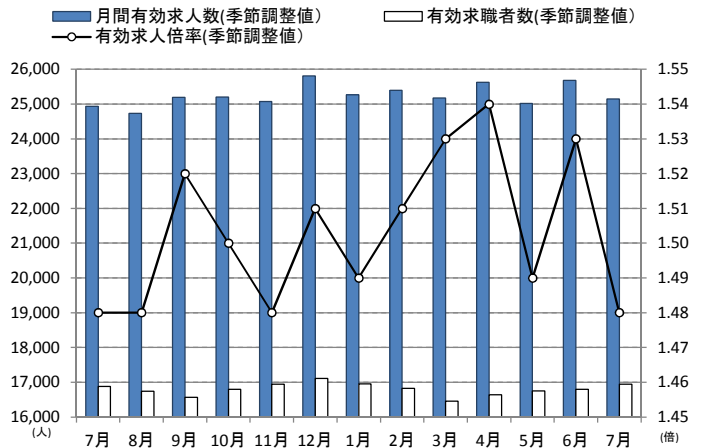
前年同月比で2.4%の減少となりました。

・雇用保険受給者実人員は3,989人でした。

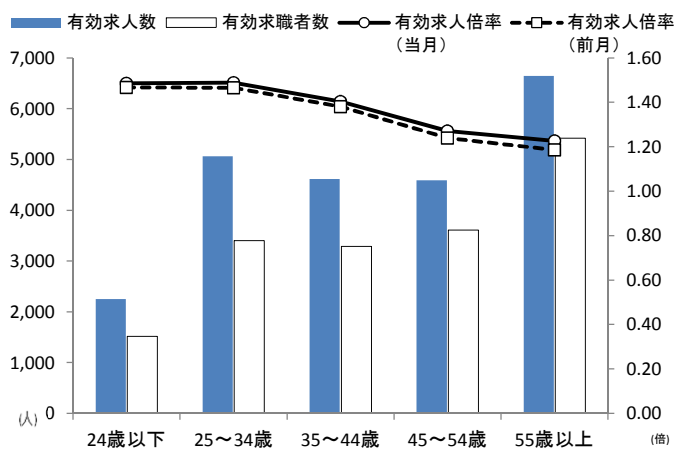
前年同月比で同数となりました。

(注) 求人倍率(季節調整値)については、季節調整替えが行われ、平成30年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)により改訂。

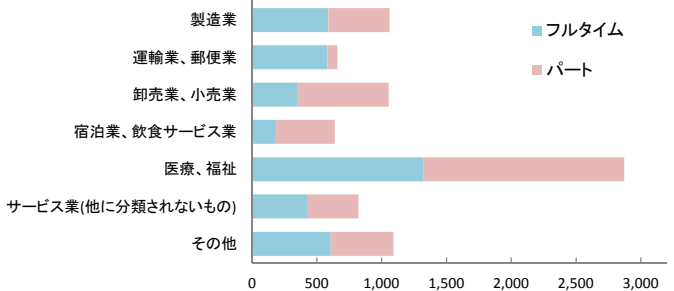
月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き(パートを含む)



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況(常用・パートを含む)



新規求人数(単位:人)



新規求人の産業別割合

